



岐阜北週報

3月 識字率向上月間

□ 題 字	谷田 育子	□ 会 長	谷田 育子	
□ 例 会	毎週水曜日	□ 副会長	岡田 一二三	2012-2013
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	原尾 勝	No.1484
		会報委員長	小泉 宣昭	13.3.13発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1483 例会 3/6(水) 慶祝行事 クラブフォーラム(10) 100万\$ 担当: 米山奨学委員会	第 1484 例会 3/13(水) 卓話(7) これからを考える-温故知新- 100万\$ 担当: 河村・波多野&クラブ奉仕委員会	第 1485 例会 3/27(水) 献血例会(例会変更) 於: 新岐阜献血ルーム 担当: 社会奉仕(環境保全)委員会

会長挨拶

皆様こんにちは、今日はとても暖かい日になりました。春一番が吹く日も遠くないようです。先週の火曜日に、4月から入会予定の安藤重広様のインフォメーションをしました。びっくり4時間を掛けて進行させて頂きましたが、その中で特に私の心に残った事がありました。それは御夫婦が仲睦まじい感じで、顔を見合わせうなずき合ってお話された事です。

そこで今日はおしどり夫婦について少しお話をしたいと思います。

ちなみにオシドリは毎年パートナーを替え、玉子を生み、ひなを育てると翌年は、別々にパートナーを見つける1年限りの夫婦です。生涯つがいとして終えるのは、ハクチョウや、ツルの仲間です。そんな中で人間の夫婦について、あるアンケートの調査結果が目にとまりましたのでお知らせします。

自分達は良い夫婦だと思っているのは90%で、その中でいい夫婦を保つには「ガマンや忍耐が必要」と、80%以上の方が答えているそうです。また、このうちの40%が夫婦間のストレスが原因で胃痛になった事が何度かある、とも答えています。たとえ体調を崩そうが懸命に耐え忍ぶことが、おしどり夫婦といえる。と結論づけています。

これだけは相手に言うてはいけないとガマンしている言葉のトップは、夫側からは、「もっとちゃんと掃除してよ!」で妻側からは「もっと稼いでちょうだい!」だった様です。

会長挨拶 続き

このロータリーの中には、そんな方は居られないと思いますが、もしお心当たりの方が居られましたら、せめて今日だけは、お帰りになされましたら奥様に感謝とねぎらいの言葉をたくさん、たくさん掛けてあげて頂きたいと思います。

私は、夫と17年間一緒に暮らしていましたが、亡くしてから一番心残りで、しまったなあ〜と思った事があります。それは日々の生活の中で交わした言葉はたくさん有るのですが、互いに人としての心を通わせる会話が何も出来ていなかった事に気付いたのです。そして相手がいなければ、喧嘩も出来ません。皆様には、まだまだ、そんな時間が充分有ると思いますので、ぜひぜひおしどり夫婦の時間を大切にして頂きたいと思います。

出席報告(敬称略)

会員数: 29名
 出席数: 27/29名
 出席率: 93.10%
 欠席者: 2名(出席免除0名 93.10%)
 来訪者: 陳 勁毓(米山奨学生)

慶祝行事

1. 会員誕生日のお祝い
3月7日 岡田一二三 様
3月23日 永瀬 章 様
2. ご夫人誕生日のお祝い
該当者なし
3. 結婚記念日のお祝い
3月2日 川島 明雄 様
3月11日 白木 昭三 様
3月16日 原尾 勝 様
3月24日 小泉 宣昭 様

会員表彰



ベネファクターの感謝状
永瀬 章 様

米山奨学生カウンセラーの感謝状
永瀬 章 様

ニコニコBOX（敬称略）

谷田 育子：理事役員会です。よろしくお願いします。

永瀬 章：陳君、1年間よく頑張ったね。また、誕生日を祝って頂いて

白木 昭三：結婚記念日を祝って頂き、ありがとうございます。

片桐順一郎：前田さん、先日はありがとう。

安藤 武司：何でもガンバります。

若山 和正：もうすぐ春ですね♪

波多野光裕：暖かくなりました。

長野 鉄司：今日も元気で

委員会報告事項

社会奉仕委員会
3月27日の献血例会の出欠席表を回覧しますので、よろしくお願いします。

委員会報告事項 続き

会報広報委員会

今回の週報に記載されています「岐阜A・Bグループ合同対抗ゴルフ大会」の日付が4月29日のところ、7月29日となっています。訂正をよろしくお願いいたします。

幹事報告事項



本日例会終了後、定例理事会となっています。理事・役員の方は、出席をよろしくお願いいたします。

陳 勁毓さんに、記念品がありますので、前の方にお願ひします。

地区と北ロータリーからの記念品贈呈。

クラブフォーラム



米山委員長の小島です。
本日のクラブフォーラムは米山奨学生の陳君が3月に卒業となり、東京で「電通国際情報サービス」に就職されますので、皆様にお礼とご挨拶をしたいということですので、この時間を陳君に譲ります。最後までお聞き届け下さい。

クラブフォーラム ～ 陳 劭毓 卓話 ～



こんにちは。光陰矢の如し、私は先月帰国し、昨日日本に戻ったばかりでした。親と友達とゆっくり休んでいて、社会人になるまで中国の最後の学生生活を送りました。ちょっと太ってきましたが、とても楽しかったです。

「留学」の理由はなんですか？「夢」だと思われる人が多いと思います。なぜなら、異国の風俗、習慣、文化の体験、母国でどこからも学べない知識は人生のありがたいエピソードとして残せます。ところが、私にとっては単純に「夢」とは言えません。

4年前、日本の空港に到着した時、未来に期待する気持ちで、「新しい人生が始まるぞ」という言葉が浮かんできました。「充実した留学生活を送りたい」と誓いました。ところが、最初はいろいろなことが予想通りに順調に進展していなかったです。日本語の不勉強だったり、学習奨励金が申請できなくなったり、アルバイトを見つけられなかったりしました。経済的な面では自分の生活が大きな問題となり、勉強にも力を注げませんでした。

自分が描いたきれいな「夢」が破れて、周囲の人に見捨てられた感じで完全に落ち込みました。その時には、国内の楽しい生活、懐かしい青春を思い出して、「中国に帰りたい」と嘆きました。

その時、中国にいる親から電話があり、お父さんからは「挫折から逃げることは男じゃない！」と言われ、お母さんに「どんな困難に直面しても軽く諦めないで、成功するまでずっと支持しているよ」と励まされました。私が落ち着き、そこまでの生活を振り返ると、「私はまだ若者だからこそ困難が来ても当然だ、誰もが人生がうまく進んでいるわけではない、ただし苦しい生活を乗り越えれば、私も成長できる。その最高の喜びはどこでも味わうことができないものだ」と考えました。

ですから、それ以降、私は毎日のスケジュール管理をきちんと行い、時間を最大限に効率化し、仕事と生活を両立しました。結局、研究は

クラブフォーラム 続き

予想以上に進んで、国際学会に論文が採用され、先生からもいい評価を獲得しました。また、就職活動では、最初は欧米の優良企業に挑戦し、落ちましたが、就職支援室の先生からもアドバイスをたくさんいただいた上、本格的に日本の選考に挑戦することにしました。努力した結果、内定をもらった6社のうち一番興味を持っている電通グループに属しているIT企業、「電通国際情報サービス」を選びました。

現在、私はロータリー米山奨学金を受給していますから、この一年間では本当に経済面では助かりました。自分のプライベートがカラフルになった感じがしています。毎月奨学金を頂いた際に、お金の重さの感じだけではなく、期待される言葉「頑張ってください！」という強い気持ちがよく伝わりました。

例えば、私は最初の米山懇親会に参加したとき、ビジネスマナーについて何も知らずに、ビールを自分のカップに入れてしまいました。その際に、永瀬さんが「相手にお酒を入れること」とやさしく教えてくれました。そのような細かいところまで今後の社会人としての生活の中に気をつける必要があると思います。

私はロータリーの歓迎会の主席からの一言を覚えています。『あなたたちの胸に世界平和を願う心を生み出すと同時に、もっと優秀に育てるため、お金を支援します。』この一年間では、岐阜北クラブは、私に単純に奨学金を支給してくれただけではなく、日本文化への理解を深めさせてくれたし、人との円滑なコミュニケーションを築けるチャンスを与えてくれました。

一方、会社のほうでは、去年から毎回の懇親会を通じて、日本人内定者と友達をつくり、料理を食べたり、お酒を飲んだりして、だんだん仲良くなってきました。

私の学生時代はあとわずか20日ぐらいでおしまいです。4月1日から新しい社会人生活が始まります。私は現在、院生としてもまだ不勉強なところがよくあります。未知な知識を学ぶために、謙虚な姿勢を持ち、先輩たちに伺うつもりです。会社にとっては欠かせない一員になれるように努力したいと思います。

実際には、私にとって、日本で働くことは必ずしも人生の最高の目標だというわけではありませんが、海外の生活を通じて、視野を広げ、人生の夢に近づき、目標を実現しやすくするようになれるのではないのでしょうか。今後は、いくら苦しみや悩みに遭っても、冷静に対応し、全力を尽くせば十分だと思います。

クラブフォーラム 続き

最後の一言

この一年間のお世話、本当にありがとうございました。私は今後も米山奨学会からの卒業生として中国と日本との架け橋となって国際事業の展開を支えようと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会のご案内

第1485回 例会 3月27日（水）

献血例会（例会変更）

於：新岐阜献血ルーム

担当者：社会奉仕（環境保全）委員会

会報・広報 3月担当 波多野 光裕